

いぬはりに

vol.

13

子どもたちを病気から守るために
手洗い習慣、できていますか？

ユキトリキマテルネル
園の"想い"を見せる・伝える
こだわりいっぱいの園児服

文化作品のある風景
大切な園歌から生まれた、
愛情あふれる童画作品

Creator's voice
原優子インタビュー
ひと針ひと針思いをこめて
幸せ運ぶ、ぬいぐるみの物語

ジャクエツとのコラボレーションで生まれた
原優子さんの園グッズ

極厚ソフティーでつくる
世界にひとつのオリジナルバッグ

はさみ、糸、ミシン…原さんのぬいぐるみ作りに欠かせない、愛用の制作ツール。素敵なデザインの針山たちは、大切なコレクション。かわいいものを見つけたら思わず購入してしまうそう。



Creator's voice

原 優子インタビュー

ひと針ひと針思いをこめて 幸せ運ぶ、ぬいぐるみの物語

ぬいぐるみ作家の原優子さんが一枚の布から作りだす、クマ、ウサギ、ゾウ……たくさんのぬいぐるみ。たっぷりの愛が詰まっているからどの子どもみんな優しい表情をしています。春の陽だまりのように心地よい、原さんのアトリエを訪ねてみました。



原 優子Yuko Hara

1976年東京生まれ。ぬいぐるみメーカーの企画デザインを経て現在フリーで活動中。オリジナルキャラクターのデザイン・ぬいぐるみ制作・販売のほか、絵本や映画作品をモチーフにしたぬいぐるみ、企業からの依頼によるぬいぐるみの制作などを多数手がける。東京・大阪で年に4回ほど開催する個展では、出展した作品がほぼ完売する人気作家。



幼稚園時代のオリジナル作品「おうちと不思議な生き物」。がんばって縫い合わせた生地の中には、ちぎったティッシュが入っているそう！

ぬいぐるみを作り始めたのはいつごろからですか？
「4歳ごろから、手芸が得意な祖母の手ほどきで、針と糸を手に、人形作りを始めました。祖母はけっこうスパルタで、変な縫い目があると、ほどいてやり直しなさい！」と厳しく言われたこともありです」
—— 当時の夢は何でしたか？
「小学校の卒業文集に、”将来の夢はぬいぐるみを作ってお店を出すこと”と書いていました。本当にぬいぐるみ作りで夢中で、手作りの小さな人形をクラスの人全員に配ったこともあります」



クマをはじめ、動物や人間など様々なぬいぐるみを手がける原さん。その愛らしい表情や姿かたちを見ているだけで心が癒され、幸せな気持ちになります。

ぬいぐるみ作りの魅力とは？
「最初は一枚の布なのに、少し手を加えることで生き物が誕生するような、そんな変化がとてもおもしろい！できあがった作品は愛おしい存在ですが、制作プロセスはもっと楽しい。毎回、どんな子ができあがるかな？とワクワクしながら作っています」
—— ぬいぐるみができあがるまでの制作工程を教えてください。
「たとえばキリンを作ろう、とアイデアが決まったら、まずデッサンを鉛筆で大胆に描きます。これを細かく描きすぎないことが大切。具体的に描くとそれに縛られてしまい、自由な制作ができません。それから型紙作り。紙とセロハンテープを貼りあわせ、実物大の立体的なペーパークラフトを作ります。これを切り開き、縫いしろをつけて本番用の型紙に。型紙に合わせて生地を裁断し、縫製して仕上げ、最後に”目”を刺繍します。これがいちばん



「きれいな色やかわいい柄のハギレに出会うと、つい集めてしまう」と原さん。



大事なポイント。いのちを吹き込む瞬間なので、毎回緊張するんですよ」

—— 作品を発想するきっかけは？

「いちばん多いのは生地を見たときかな。この生地でクマを作ったら優しい感じになりそう、とか。生地問屋さんで、たくさん生地から掘り出し物を見つけてるのが楽しくて。いい素材に出会ったら、これを作ろう、あれを作ろう、と発想がふくらみます」

—— 原さんならではのこだわりは？

「見ているだけで、心があたたかくなるような表情、かたち。ちよつぴりストリー性を感じる作品作りを目指しています」

—— 今まで手がけた作品への思いは？

「個展のために作ることが多く、出展作品をお客さんが買ってくださるので、私の手元にはほとんど残りませんが、持ち帰ってくださった方にかわいがっていただければ幸いです」

—— 現在の活動と今後やってみたいことを教えてください。

「年に4回の大きな個展と、グループ展などに出品するための制作が中心です。先日、初めて写真絵本を手がけたのですが、これまでとはちがうかたちで表現でき、多くの方に楽しんでいただけるので、とても新鮮でした。今後はぬいぐるみの可能性をもっと追求したいです。たとえば、子どもが遊具のように遊べる、木馬風の大きなぬいぐるみ。ぬいぐるみの枠を超え、どんなチャレンジしたいと思っています。」



原さんが初めて「和」のテイストに挑戦した8月は、ネズミさんたちの夏祭り（左）。なんとも幸せそうな表情でピアノを弾く5月のブタさん（右）。耳をすませば、動物たちの楽しい音楽が聞こえてきそう！



あゆみ（クラブ）

作家・原優子
400円（税込）※シール別売
12年度新学期用品。毎月、いろいろな動物が音楽を楽しむ素敵なあゆみです。



ジャクエツとのコラボレーションで生まれた 毎日の生活が楽しみになる 原優子さんの園グッズ

いまにも歌声が聞こえてきそうなブタさんのピアニスト、お囃子のリズムが楽しそうなネズミさんの夏祭り。想像力がぐんぐんふくらむ、原優子さんの園教材がせいぞろい！「私がモノづくりに目覚めたのは幼少のとき。そんな私が園児たちに作品を発信できるのがうれしいです」という原さんに、教材にこめた思いを聞きました。

出席ノート あゆみ

あゆみ制作のお話をいただいたことがきっかけで、私が幼いころ使っていたあゆみを押し入れから発見！当時の私と同じように、園児のみなさんが毎日あゆみにシールを貼って、楽しい園生活を送れますように……そんな願いをこめて制作しました。今回のあゆみは、12か月、いろいろな動物たちが季節に合わせて、ピアノや太鼓など楽器を演奏したり、歌をうたったり、音楽を楽しんでいます。写真撮影時のスタイリングは、イラストレーターのまえをけいこさんにお願ひし、物語を感じる素敵な世界観ができました。各ページに貼るシールも、手作りのアップリケにするなど、写真のイメージに合うように工夫しています。私のお気に入りには3月（表紙参照）。卒業・進級おめでとう！というメッセージをこめて、明るい未来をイメージして作っています。

じゆうが

いろいろな絵をたくさん描いてほしいという気持ちをこめて、あゆみに登



原さんが幼稚園時代に使っていたあゆみ。登園時に貼ったシールや先生方のコメントなど、各ページに楽しい思い出が詰まっています。



街角にあるアトリエで、鼻歌を歌う絵描きさん。そう、あゆみに登場したピアニストのブタさんなんです！

じゆうがの表紙撮影風景



ブタさんの横に、キャンバスや風船などの小物をていねいにバランスよく配置する原さん。こうやって、一枚の写真に物語が生まれます。



じゆうが

じゆうがB4 (そうげん) 380円 (税込)
 じゆうがA4 (スケッチ) 300円 (税込)
 絵描きのブタさん、いつも仲良しのお馬さん。ストーリー性豊かなぬいぐるみたちが、子どもの想像力を広げます。

おはなし腕人形

23,100円 (税込)

口がバクバク大きく開いて、お話したり、食べ物を口に入れたり、いろいろな人形劇が楽しめます。男の子がおじいさんに、女の子がおばあさんに変身できるから、昔話も楽しめます



「口を大きくバクバクさせるのに苦労しました」という原さん。そのかいあって、お話したり食べたりできる、ちよっぴりユーモラスで表情豊かな人形たちが誕生しました。



「園児たちが楽しく遊べるように、着替えや小物などのアイテムをたくさん揃えました。小さな手でもお世話しやすいよう、デザインも工夫しています」と話す原さん。

ベビーお世話セットⅡ

39,800円 (税込)

お着替えしたり、ミルクを飲ませたり。赤ちゃんのお世話を楽しみながら、やさしい心が育まれます。



場したブタさんが、今度は絵描きになってまたまた登場しています。もう一点は、お馬さん。じつはこれまで、馬のぬいぐるみを作ったことがなかったのですが、知り合いが飼っている馬の写真を見ながら、かわいらしい表情が出るように制作しました。私の作品から、園児たちがいろいろなことを感じたり、モノづくりに興味をもってくださうれしいですね。

ベビーお世話セットⅡ

1、2歳ぐらいから遊べる人形のお世話セットです。お着替えをさせたり、ミルクをあげたり、いろいろなお世話を楽しめます。お人形の男の子と女の子は、幼くてかわいらしい表情にしており、洋服は低年齢でも着替えさせやすいデザインにしています。自分よりも小さい子のお世話をすることで、やさしい心をもった子になってもらいたい。そんな思いをこめて作りしました。

おはなし腕人形

男の子、女の子、魔女、鬼など、10体のパペットです。制作でむずかしかったのは、口を大きくするところ。私がかんだん作るぬいぐるみは口が小さいので、表情やかたちに苦労しました。パペットに手を入れて、バクバクお話ししたり、食べ物をモグモグ。男の子が着物と帽子で、おじいさんに、女の子がスカートと着物で、おばあさんに変身！いろいろな人形劇を楽しんでください。



極厚ソフティーでつくる

世界にひとつのオリジナルバッグ

園児たちといっしょに、手作りの不織布バッグを作ってみませんか？
ぬいぐるみ作家・原優子さん直伝の、極厚ソフティーを使った、簡単で楽しいオリジナルバッグ。
みんなの宝物になりますように！



step1・基本のバッグをつくりましょう

●作り方



1 極厚ソフティーを型紙通りに裁断。持ち手と折り返しの位置に印をつけておく。



2 持ち手の部分を縦半分折り、端にミシンをかける。



3 折り返し位置を折り、2を持ち手の印の位置にまち針でとめ、折り返した端と一緒にミシンで縫う。



4 バッグの両面に持ち手がついたから、バッグを2つに重ねて両端を縫う(5mm内側)。



ミシンを使用しない場合、両面テープやのりでも接着できます！

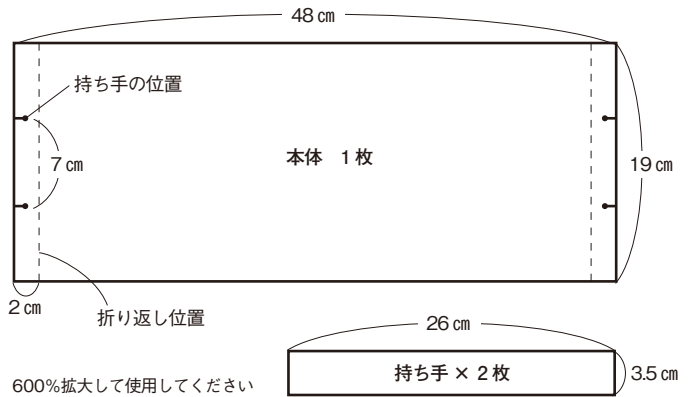
5 表にひっくり返して完成！ 底の角がきれいに出てこないときは針などでつついて引っぱり出す。シワが気になるときはアイロン(中温)で伸ばせばOK！

●用意するもの

極厚ソフティー、ミシンと糸(両面テープやのりでも可)、鉛筆またはチャコペン

●型紙の作り方

折り返し位置と持ち手の位置は、鉛筆やチャコペンでしっかり印をつけておきましょう。



かんたんにつくれます



step2・子どもと一緒にデコレーション

●作り方

自分や家族の顔、夏の楽しい思い出、好きな動物……。 「工作くん」や「きらりんカラー」を使って、バッグに自由に絵を描きましょう！



「夏、元気いっぱい外遊びしているクマ君のイメージです」と、楽しそうに制作する原さん。

●用意するもの

工作くん、きらりんカラーなど

想像力をふくらませて、楽しく絵を描こう！
世界に1つしかない
バッグのできあがり♪

ポイント！

布のような風合いを持つ極厚ソフティーは丈夫で、柔らかく、ケバだちにくいから、絵を描くのにもぴったり。

ポイント！

薄めずに塗れる工作くんは、のびがよく、乾くのも早いから、自由にいろんなものに絵を描けます。



園児たちを病気から守るために

手洗い習慣、

できていますか？

園で集団生活を送る子どもたちの環境は、感染症の危険がいっぱい！

病気を防ぐための基本は「手洗い」です。

園児たちが健やかな毎日を過ごせるように、「手洗い」の習慣や環境について考えました。

感染症予防の基本は石鹸による手洗い

園児が長い時間を過ごす園では、一人ひとりの健康や安全を維持することがとても大切です。一緒に遊んだり、昼寝をしたり、楽しく食事したり。互いに触れ合うことの多い園児は、感染症の免疫を獲得しておらず、体力や抵抗力も微弱です。そのため保育施設は感染の危険性が高く、さまざまな種類の感染症が発症しやすい環境であることがわかります。

保育施設で起こるおもな感染症の経路には、飛沫感染、空気感染、接触感染、経口感染があります。これらの経路から発生する多くの病原体は、おもに人の手を介して感染源から次の増殖場所となる人へと伝播し

ます。感染症を予防するためにもっとも効果的な対策は、徹底した手洗いや手指消毒の励行です。

おもな感染症の経路

- 飛沫感染…すでに感染している人の口から飛ぶ病原体を含んだ水滴を近くにいる人が吸いこんで感染する。飛び散る範囲は1～2m。
- 空気感染…感染している人の口から飛び出した飛沫が乾燥し、中の病原体が空気の流れて拡散し感染する。
- 接触感染…感染源である人に触れることで伝わる直接接触感染（握手、だっこ、キスなど）と汚染されたものを介して伝播する間接触感染（ドアノブ、手すり、遊具など）がある。



”石鹸を泡立て30秒以上“が効果大

小さい子どもが自分で手を洗う場合、石鹸をつけるとこすり洗いを十分にしないうちに、すぐに水で洗い流してしまう傾向があります。最初に流水で洗ったら、石鹸をよく泡立て、丁寧に約30秒以上手指を洗い、最後に流水でしっかりすすぎ、石鹸をきれいに洗い流すと、除菌の効果

が高まります。低年齢児は最初から泡状で出てくるハンドソープを利用するのもおすすめです。大切なのは、基本的な洗い方をきちんと身につけながら、手洗いを習慣化すること。先生やお友だちと楽しみながら、毎日の手洗いをマスターしていきたいですね。

園児に合ったシンク環境を

手洗いを習慣化するには、園児一人ひとりの自発性を養うのがポイントです。とはいえ、低年齢児に自分で洗わせるのは大変、と考える先生方も多いのではないのでしょうか。上手に洗えないから、先生が一人ずつサポートする必要がある。シンクの高さが合わないため、水栓に手が届かない。高い位置の蛇口に手を伸ばすため、水が腕の方につたって濡れてしまい、服がビショビショに……など、さまざまな理由が考えられます。

園児が手洗いに関心を持ち、楽しく習慣化するために、成長段階に合った使い勝手のよいシンク環境を整えてあげましょう。たとえば、水栓に手が届くこと。洗っても服が濡れないこと。シンクまわりに水が飛びはねないこと。小さな身体にあった、低年齢児でも使いやすいシンクなら、園児たちに自信がつけます。「自分で洗えるよ」「一人でできるよ」そんな気持ちを大切に、小さいうちから手洗い習慣が身につくよう、毎日少しずつ促していきたいと思います。



低年齢児用のFRP製シンクが誕生しました

園児が使いやすい高さや奥行きを考慮し、1~2歳児でも自分で手洗いのできるシンクができあがりました。従来の幼児用シンクに多かった「水栓が遠くて手が届かない」「蛇口の位置が高すぎて手洗いすると水が腕に伝ってくる」などの問題点をクリアしたデザインです。まわりに水が跳ねないように、シンクの側面や背面を立ち上げるなど、随所に工夫を凝らしています。

Point

水はね防止のサイドパネルがあるから、隣に絵本棚を置いてもだいじょうぶ。



Point

低年齢児の手が届くよう考えられた、奥行きと高さで、使いやすく。

Point

木製の台と組み合わせる新工法で、家具のように部屋になじむデザインに。

できるの木
FRPシンク 自動(センサー)水栓セット

ユキトリキマテルネル

園の“想い”を見せる・伝える こだわりの園児服

子どもたちが毎日袖を通し、通園したり、遊んだり、食事をしたり、園で長い時間を過ごす園児服。

新製品を始め、園児服の製作を手掛けている、

ユキトリキマデザイン事務所の岡誠さんに、
園児服づくりへの思いを聞きました。

園児服は、子どもが毎日着るものというだけでなく、さまざまな意味を持っていると考えています。

一つ目は「子どものため」。子どもたちが同じ服を着ると言うことは、上辺だけの「見た目」ではなく、子どもの持つ本来の個性を感じられるようになります。また、活発な体の動きをさまたげないことも、園児服を着る子どもたちにとっては大切なことだと思います。

二つ目は「保護者のため」。イメージが出来るように、丈夫で汚れが落ちやすい素材で作ることは、子どもに着心地の良いものを与えながら、保護者にも安心感と満足感を持って頂けると思います。

三つ目は「園内での意味」。ボタン

を留めたり、きちんとたたむなど、子どもたちの自立を養うこともできるのではないかと考えています。また地域

においては「〇〇園の子ども」として認知されることは「園外へのメッセージ」や「園のイメージ作り」においてもとても大切なことではないでしょうか。こういったさまざまな思いを込めて丹念に企画、デザインし製造しています。

園の先生方が毎日どのように子どもたちを育てていらっしゃるのか、また、どんな教育方針や愛情をもって接していらっしゃるのか……。園児服は、それぞれの園の“想い”や“考え”をきちんと伝え、語ることができる存在であってほしい。それが、私たちが園児服にこめられているこだわりです。

（ユキトリキマデザインディレクター・岡誠 談）



自分でボタンが かけやすい

自分でボタンをとめられるようになることも園児服の意味のひとつ。交互にボタンの色がちがう工夫があれば、よりわかりやすく、みんなもニコニコ。



動きやすく 着心地が良い

横伸びストレッチの効いた、着心地バツグンの園児服なら、のびのびと思いつき動き回っても安心です。



ユキトリキ 新作ナーサリー

ナノレベルの加工により防汚性・洗濯性に優れ、半永久的に遮蔽率98%のUVカット性を実現。ストレッチ性、制電性などもしっかり保ちながら、やわらかい肌ざわりの風合いに仕上げています。



汚れにくく、洗濯も簡単

子どもには、汚れを気にせず元気いっぱい遊んでほしい。汚れにくく、丈夫で、洗いやし園児服は、保護者にとってもうれしいものです。

大切な園歌から生まれた、愛情あふれる童画作品

人情豊かな町・亀戸で昭和25年の創立以来、地域に愛されてきた亀戸浅間保育園。園児たちは、朝の会・入園・卒園式・運動会など、さまざまな場面で園歌を歌い、成長してきました。「園歌の歌詞やメロディには、園の歴史や愛情がたっぷり詰まっています。そんな園歌を身近に感じながら、毎日を心豊かに過ごしてほしい」と副園長先生の思いから生まれたのが、世界に一つしかない絵画。同園歌を

テーマに童画作家の星野はるかさんが手がけたオリジナル作品は園舎のエンタランスに設置され、毎朝登園する園児たちを迎えます。歌詞の明るく元気なイメージや園舎の風景を表現した絵は、園児たちに大人気。「よい絵画や音楽との出会いは感性を育む大切な存在です」と語る副園長先生。「保育園、大好き」「園歌も歌えるよ!」みんなの笑顔は作品に描かれた大空のように澄んでいました。



文化作品のある風景

社会福祉法人 東京児童協会
かめいどせんげん
亀戸浅間保育園様





おくるみ



ほにゅうびん



シャツ



ズボン



ロンパース



スタイ



オムツ



ブラウス

おんなのこ

おとこのこ



くつした



ワンピース



オムツ



くつした



スリッパ



ベビーお世話セットⅡ

手ざわりがよく愛らしいお世話セット。やさしい心が育めます。

ベビーお世話セットⅡ／収納バッグ付 ¥39,800(税込)
Designer／原優子

※生産上の都合により、人形の顔や商品の色・柄は写真と多少異なる場合があります。

ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

いぬはこ通信バックナンバーはホームページに掲載中です